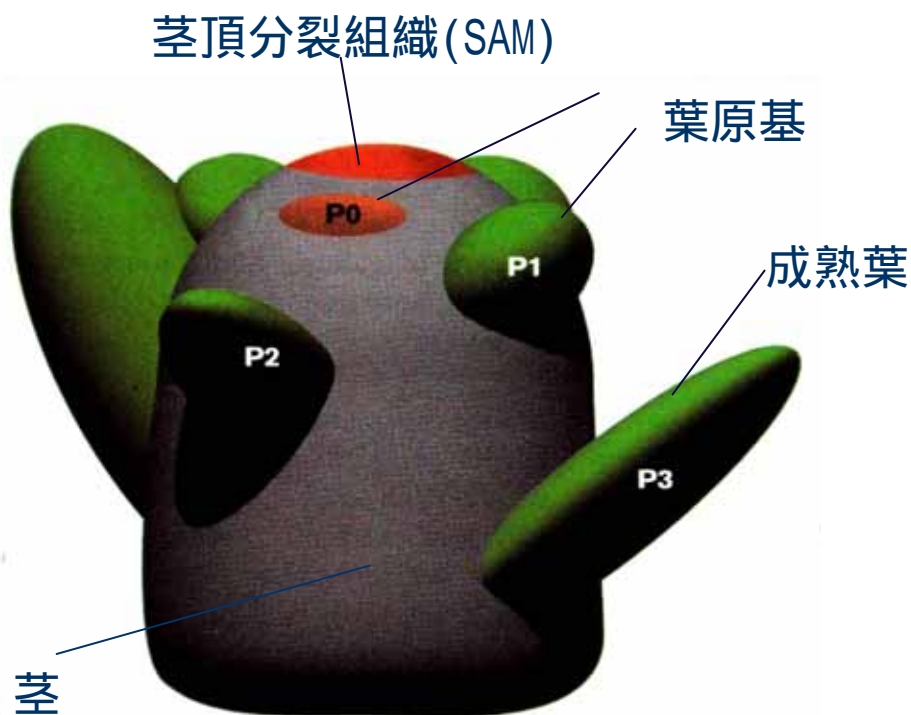


植物細胞が自分の運命を認識する仕組みを解く



表側から裏側に向かって、表側表皮、柵状組織、海綿状組織、裏側表皮の順に並んでおり、それぞれの組織の細胞は役割にふさわしい異なった形や構造を持っている。細胞は細胞間を移動するシグナル分子を介して、塊の中の自分の位置を認識して自身の役割を認識しているらしい。

シロイヌナズナのカリフラワー突然変異体から細胞外に存在するペプチド分子やマイクロRNAを抽出してシグナル分子としての役割を調べる。



- 植物の体制の成立と維持の機構の理解
- 細胞培養など細胞操作の基盤技術
- 新たなバイオイメージング技術の開発
- システム生物学としての解析手法の開発

